

平成29年度 放課後等デイサービス自己評価表（事業所）

対象事業所：おひさま

回収数（4/4）

| | | チェック項目 | はい | どちらとも いえない | いいえ | 改善目標、工夫している点など |
|------------------|----|---|----|---------------|-----|--------------------------|
| 環境・ 体制設備 | 1 | 利用定員が指導訓練室スペースとの関係で適切であるか | 1 | 3 | | |
| | 2 | 職員の配置数は適切であるか | | 4 | | 送迎時に人員不足の場合あり 男性職員が必要 |
| | 3 | 事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか | | 3 | 1 | 玄関・トイレのバリアフリー化が必要 |
| 業務改善 | 4 | 業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか | | 4 | | 全員が参加できる時間が増えるといい |
| | 5 | 保護者向け評価表を活用等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善に繋げているか | 3 | | 1 | |
| | 6 | この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか | | | | 平成29年より開所により無し |
| | 7 | 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善に繋げているか | | | | |
| | 8 | 職員の資質向上のため、研修等の機会を確保しているか | | 3 | 1 | 時間がある時には積極的に参加したい |
| 適切な 支援の 提供 | 9 | アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか | 2 | 1 | | |
| | 10 | 子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか | 3 | 1 | | |
| | 11 | 活動プログラムの立案をチームで行っているか | 2 | 1 | | |
| | 12 | 活動プログラムが固定化しないように工夫しているか | 2 | 1 | | |
| | 13 | 平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細かに設定して支援しているか | 3 | 1 | | |
| | 14 | 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を便宜組み合わせ、放課後等デイサービス計画を作成しているか | 3 | 1 | | |
| | 15 | 支援開始前には職員間で必ず打ち合わせをし、その日の支援内容や役割分担について確認しているか | 4 | | | |
| | 16 | 支援終了後には、職員間で必ず打ち合わせを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか | 2 | 2 | | |
| | 17 | 日々の支援に関して正しく記録を取ることを徹底し、支援の検証・改善に繋げているか | 4 | | | |
| | 18 | 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか | 3 | 1 | | |
| | 19 | ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ、支援しているか | | 3 | 1 | |

| | | | | | | |
|--------------------------|---|--|---|---|---|--------------|
| 関係機関や保護者との連携、関係機関と保護者の連携 | 20 | 障がい児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしいものが参画しているか | 1 | 1 | 1 | |
| | 21 | 学校との情報共有（年間計画・行事用計画等の交換・子どもの下校時間等の確認等）、連絡調整（送迎時の連絡、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか | 3 | 1 | | もっと連携を密に取りたい |
| | 22 | 医療的ケアが必要な子どもを受け入れている場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか | 3 | 1 | | |
| | 23 | 就業前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所との間で情報共有と相互理解に努めているか | 3 | 1 | | |
| | 24 | 学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障がい福祉サービス事業所へ移行する場合、これまでの支援内容を提供する等しているか | | | | 対象児無し |
| | 25 | 児童発達支援センターや発達障害支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか | 1 | | 3 | |
| | 26 | 放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいの無い子どもと活動する機会があるか | | 1 | 3 | |
| | 27 | （地域自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか | 1 | | 3 | 管理者のみ参加している |
| | 28 | 日頃から子どもの状況を保護者と伝えあい、子どもの発達状況や課題について共通理解を持っているか | 3 | 1 | | 出来る範囲で行えている |
| 29 | 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者へペアレント・トレーニング等の支援を行っているか | 1 | | 3 | | |
| 保護者への説明責任等 | 30 | 運営規程・支援内容・利用者負担等について丁寧に説明を行っているか | 1 | 2 | | |
| | 31 | 保護者から子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか | 2 | 2 | | |
| | 32 | 父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか | | 1 | 2 | 父母の会がない |
| | 33 | 子どもや保護者からの苦情に対して、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合は迅速かつ適切に対応しているか | 1 | 3 | | 迅速に出来ていない |
| | 34 | 定期的に会報を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者にたいして発信しているか | 1 | 2 | | お知らせはあり |
| | 35 | 個人情報に十分に注意しているか | 3 | | | |
| | 36 | 障がいのある子どもや保護者との意思疎通や情報伝達のための配慮を行っているか | 2 | 2 | | |
| | 37 | 事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか | | | 4 | |
| 非常時 | 38 | 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか | 3 | 1 | | |
| | 39 | 非常災害の発生に備えて、定期的に避難、救出その他の訓練を行っているか | | | 4 | |
| | 40 | 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか | | 3 | 1 | |

| | | | | | | |
|----------|----|---|---|---|---|-------|
| 等の 対応 | 41 | どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了承を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか | | 2 | 1 | |
| | 42 | 食物アレルギーがある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか | | 2 | 1 | 指示書無し |
| | 43 | ヒヤリハット事例集を作成し、事業者内で共有されているか | 3 | 1 | | |